



進路通信

3年生

進路指導係発行

令和3年10月

～ 変化し続ける大学入試 ～

3年生の皆さんは、進路決定に向けた動きがいよいよ佳境に入ってきました。総合型選抜や学校推薦型選抜受験者は志望理由書や面接などの対策を、一般選抜受験者は学力向上のため、学習に励んでいることと思います。



●スカラシップ制度を視野に入れ、自分に合った受験計画を！

さて、今回の話題は4年制大学を目指している人たちに合ったものを中心としたものになります。皆さんはスカラシップ制度というものをご存じでしょうか？今回は、数ある入試制度の中からスカラシップ制度の紹介をしますので、今後の受験計画の一助になればと考えています。「スカラシップ」とは「奨学金」を意味していて、近年増加しつつある受験形態となっています。主に次のパターンで入試制度を設けています。



<年内入試>

この入試は12月に受験日が設けられており、奨学生として合格しなくても通常の合格基準をクリアしていれば、一般選抜を免除、要するに合格となります。神奈川大学の給費生試験、東洋英和女学院大学・武蔵野大学・恵泉女学園大学のスカラシップ制度、清泉女子大学の奨学生入試などがそれにあたります。

<共通テスト利用・一般選抜の上位者>

これは各大学で導入が増加している制度です。数が多いので一例を挙げておきます。

〔例1〕専修大学 最大免除額：4年間 受験科目：3科目 合格者数：全学部で100名

〔例2〕玉川大学 大学入学共通テスト利用方式

最大免除額：4年間 受験科目：3or5科目 合格者数：各学部若干名

●スカラシップ制度のメリット！

①授業料等が免除され、経済的な負担が減る。

一般的な日本学生支援機構の貸与される奨学金とは異なり、奨学金が給付されるので、経済的な負担が減ります。大学によって条件は様々ですので、自分で調べてみましょう。

②受験時期が早い大学があり、一般選抜に向けて有利な戦略を練ることが可能。

一部で12月中に試験が実施される大学があるので、一般選抜向けの出題傾向を掴み、試

験会場の雰囲気味わうことができます。また、合格を勝ち取ることが出来れば、それ以降の受験で精神的な余裕が生まれますし、ワンランク上の大学に挑戦し易くなるはずです。要は、1 月以降に学力相応校（すべり止め）の対策をしなくて良いということです。次の一覧表を参考に、受験を検討してみたいはいかがでしょうか。

スカラシップ（年内）入試一覧					
大学	出願	試験日	合格発表	最大免除額	受験科目
神奈川大学	11/24～12/2	12/19	1/12	600 万円 (4 年間)	3 科目
東洋英和女学院大学	12/3～12/10	12/18	12/22	428 万円 (4 年間)	2 科目
武蔵野大学	11/10～11/22	1 次 12/5 2 次 12/19	1 次 12/10 2 次 12/24	4 年間	3 科目
恵泉女学園大学	11/1～12/7	12/11	12/13	4 年間	2 科目
清泉女子大学	10/15～11/29	12/12	12/16	4 年間	1 科目

●総合型(AO)や学校推薦型入試でも利用可能な場合がある

すでに進学先が決定している人でも、自身の受けた専門学校や大学の要項をよく見てください。専門学校の AO 受験や大学の総合型、学校推薦型入試の合格後、奨学生試験を設けているところがあります。チャンスがあれば、積極的に利用してみましょう。

例えば、横浜商科大学は入学までに日商簿記検定 2 級を取得していれば、最大 4 年間授業料が半額免除されますし、横浜公務員 & IT 専門学校では合格後でも奨学生試験に出願ができ、国語と選択科目 1 科目の受験でチャレンジすることが可能です。

●さいごに

一般選抜の受験校選びは、本命の大学の受験前に練習として何校か受験をしておく方が良いとされます。運動部の人はイメージし易いと思うのですが、普段の練習のみで大事な試合に臨んで勝利を得られるでしょうか。必ず練習試合をして、自身のプレーの見直しや試合に向けた対策を練って本番に臨むことが勝率を上げることに繋がります。ならば、時期は早い方が対策を講じるための時間を確保できます。そういう意味で、年内に行われるスカラシップ入試を一度視野に入れて、受験計画を立ててみてはいかがでしょう。ただ、この受験方法を無理強いするものではないので、あくまで皆さんの受験の一助になればと思い、紹介しました。

それでは皆さん、これからの時期は体調に十分留意しながら受験に臨んでください。